

## 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

## ○令和5年度 第1回「健笑庵いくま」運営推進会議

対象事業者名：(有) ケアサポートことぶき「健笑庵いくま」

サービス種類：地域密着型通所介護事業所

開催日時：令和5年7月20日(木) 14時30分

開催場所：いくまミーティングルーム

出席者：8名

《内訳》

事業所(担当者)	3名	利用者	1名
利用者家族	1名	地域代表者	1名
松江市職員	0名	包括支援センター	1名
知見を有する者	1名	その他	0名

## 【議事・議題】

## 1. ご利用状況(令和5年6月現在)

登録者数 合計：16名 (設置基準別)	総合事業通所サービスA(緩和型)	4名 (男性：0名、女性：4名)			
	総合事業通所サービス(従前型)	1名 (男性：0名、女性：1名)			
	地域密着型通所介護	11名 (男性：1名、女性：10名)			
介護度別利用者数	事業該当：1名	要支援1：2名(内、緩和型2名)		要支援2：2名(内、緩和型1名)	
	要介護1：6名	要介護2：4名	要介護3：1名	要介護4：0名	要介護5：0名
利用回数状況	週1回：1名	週2回：5名	週3回：4名	週4回：1名	週5回：0名
各月総利用数 (R5.1~6)	1月：121名	2月：118名	3月：131名		
	4月：109名	5月：112名	6月：122名		

## 2. 活動報告(令和5年1月~令和5年6月)

## 1) レクリエーション活動

1月	・新年会 ・誕生会 ・ビンゴ大会 ・壁画作成 ・曜日対抗ゲーム[独楽回しゲーム]
2月	・節分豆まき ・バレンタイン行事 ・誕生会 ・曜日対抗ゲーム[鬼退治ゲーム]
3月	・ひなまつり ・花見外出 ・曜日対抗ゲーム[ひなまつりゲーム]
4月	・花見外出 ・誕生会 ・曜日対抗ゲーム[ピンポンゲーム]
5月	・鯉のぼり見学 ・カーネーション造花作り ・調理活動 ・曜日対抗ゲーム[玉入れゲーム]
6月	・壁画作成 ・誕生会 ・曜日対抗ゲーム[積み上げゲーム]

## 2) 日曜デイサービス

1月	新年会・初詣 *大雪のため初詣外出は中止 (参加者7名)
2月	買い物外出・温泉卵作り：玉造方面へ (参加者名4名)
3月	大根島花見外出 (参加者7名)
4月	斐川チューリップ祭り見学 (参加者8名)
5月	宍道湖白鳥号乗船 (参加者4名)
6月	八雲ふるさと館 そば打ち体験 (参加者6名)

## 3) 防災訓練及び活動

実施日	訓練及び活動の内容	参加者数(内職員)
1月	(実施無し)	-
2/22	地震災害について	8(3)
3/27	火災について	7(3)

4月	(実施無し)	-
5/16	火災について：	8 (3)
6/7	地震災害について	7 (3)

4) その他の活動

- ・畑、花壇作り：(年中行事)
- ・洗濯物たたみ、歌唱活動、脳トレドリル、塗り絵：(毎日)

3. 相談および苦情受付状況・事故報告 (対象期間：令和5年1月～6月)

1) <相談・苦情事例>

\*この期間での受付はありません。

2) <事故事例 ※新型コロナウイルス感染関連も含む>

\*この期間での受付はありません。

3) <ヒヤリハット対象事例>

\*この期間での該当はありません。

4. 研修会および勉強会

【外部研修】

\*この期間での実績はありません。

【内部研修】

実施日	研修会・勉強会内容	参加者
1/11	デイ会議 (ケース検討会)	3
2/19	デイ会議 (ケース検討会)	4
3/6	デイ会議 (ケース検討会)	3
4/5	デイ会議 (ケース検討会)	3
5/4	デイ会議 (ケース検討会)	3
6/8	デイ会議 (ケース検討会)	3

【集団指導】

- ・令和4年度松江市介護サービス事業者集団指導 (第1回目)：令和5年3月受講
- ・令和4年度松江市介護サービス事業者集団指導 (第2回目)：令和5年4月受講

5. ボランティア、福祉体験等受け入れ状況

\*この期間での実績はありません。

6. 業務継続計画 (BCP) の策定に関わって

令和3年度介護保険法の改正に伴い、当事業所を含む指定介護事業者は、感染症や自然災害等の発生時において、利用者に対するサービスの提供を継続的に実施するため、また非常時の体制で早期の業務再開を図るための「業務継続計画 (BCP)」策定し、それに従い必要な措置として、研修や訓練、また計画の修正など平時からの備えを行うよう義務化 (令和6年3月31日返は努力義務) されています。

弊社ではこれを受け、令和5年度中の計画策定の完了を目指し取り組んでいるところです。策定の内容項目、また策定上の課題は以下の通りです。

○策定内容

①感染症に係る業務継続計画

- 平時からの備え：体制の整備、感染防止に向けた取組、消毒液や防護用品の確保など
- 初動対応：感染確認からの対応手順など
- 感染拡大防止体制の確立：保健所との連携、濃厚接触者への対応、関係所との情報共有など

②災害に係る業務継続計画

- 平常時の対応：建物や設備の安全対策、必要品の備蓄など
- 緊急時の対応：対応体制など
- 地域及び関連機関との連携：避難や救助支援の連携体制など
- 利用者及び家族との意思確認：サービス利用中の被災に関する申し合わせの確認など

③研修について

- a 業務継続計画について職員間で共有
- b 災害に対する知識と備えの理解の励行
- c 感染症予防とまん延防止のための研修の機会

#### ④訓練について

- a 計画に基づく役割分担の確認、実践するケアの演習を行う
- b 年一回以上の定期的開催

#### ○『健笑庵いくま』における、策定上での課題及び問題点

- ①従業者数が少数のため、体制上の役割分担が兼務重複する。
- ②また従業員の代替えや緊急補充に限界があり、災害時のケア体制が不十分である。
- ③通所介護の単独サービスのため施設を利用する支援には限界がある。
- ④災害状況やその程度により、段階的な体制構築が必要となることから策定が複雑多岐に及んでいる。
- ⑤事業規模に応じた実施可能な計画査定が必要である。

### 7. 地域密着型通所介護事業所『健笑庵』の「在宅支援」の継続的な取り組みについて

弊社、通所介護事業所『健笑庵』は2001年の開設以来、少人数制での通所介護を軸にした「在宅支援」に取り組んできました。高齢者の皆様が可能な限り住み慣れた地域で、ご自宅暮らしをしていくことを第一の目標として、この20数年の間、多くの皆様とご縁をいただき、その皆様から多くの学びと気づきを頂戴いたしました。この経験が、現在の『健笑庵』の基本理念である「在宅支援」の糧であり、根拠となっています。

私どもの支援の基本は「個別」への認識です。その利用者への介護の必要性やその内容は単に心身の健康状況によるものだけではありません。それぞれの日常の「暮らし」を取り巻く様々な環境により、その方に必要な介護の内容は個別にあるということです。そして何より重要なのは、ご本人が「これからの暮らしをどうしたいのか」、家族様は「どうするのか」ということです。そして私たち『健笑庵』はそれを可能な限り実現できるための支援が「どうあるべきか」に取り組んでいます。

#### 1) 通所介護の役割と可能性

一般的に通所介護の基本方針は、「利用者が可能な限りそれぞれの居家でその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように機能の維持、向上を目指し、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより社会的孤立感の解消や心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図るもの」とされています。このことから通所介護は本人のみならず家族に対しても重要な役割が求められています。また、通所介護では、週内の一定のタイミングで必要な交流や支援が可能になります。これは暮らしのリズムを構築する上で重要な要素であると考えています。また、『健笑庵』では送迎という特性を生かし、ご家族様との連携や必要に応じてご自宅のある地域の皆様との連携も必要な機会として取り組んでいます。

#### 2) 通所介護の利用のタイミング

『健笑庵』では通所介護サービスの利用を検討するタイミングは次のように考えています。

- ①他者と交流したい。
- ②配偶者死亡等による、世帯構成の変化
- ③同居家族の介護負担の軽減策として
- ④食事摂取の状況の変化など体調変化のタイミング

#### 3) 「個別支援」のための状況把握の取り組み。

「個別支援」の基本的な視点として、高齢者介護の問題は、本人や家族の努力で未然に防げるものではないということ、本人や家族の責任追及という視点ではないということです。本人を取り巻く社会的環境を十分に把握し、そこには様々な要因が重なってその問題を複雑にしています。本人や家族、当事者だからこそ分りにくい状況もあります。そこで私たちの役割は、その個人の現状を丁寧に理解していくことにあります。

- ①心身の状況の把握
- ②世帯構成や支援者（親族など）状況の把握
- ③高齢者住宅など利用の把握
- ④本人や家族の思いの把握

### 8. 報告に対する質問意見及び要望

#### 〈意見、要望〉

#### ○活動報告に関わって

- ・活動で楽しみは外出です。普段できないことや色々な場所に連れていってくれるので楽しいです。[利用者]
- ・週3回利用させて頂いています。昼食も美味しくいろいろな方と交流ができるので楽しみにしています。[利用者]
- ・記憶がつながりにくくなってきたが、デイに行ってくれると安心です。[利用者家族]

- 感染防止対策を行いながら、四季の行事を取り入れ色々工夫されて活動されていると感じます。[地域代表者]
- 曜日対抗ゲーム大会など、毎月季節に合ったゲームで楽しんでいる。また歌や脳トレなど皆さんと賑やかに過ごしている。外出する事が楽しみなのでまた連れて行って欲しい。[利用者]
- 外出が楽しみなので日曜日を毎回楽しみにしています。[利用者]
- 家族では外出する機会も限られることもあり、デイで外出できることを喜んでいますが、本人に後から話を聞くとあまり覚えていないようではあるが、その時に景色を見るだけでも気分転換になっていると思います[家族]
- 入浴時、浴槽の出入りや洗身など身体状況もみてもらえて安心している。[家族]
- 事業所に合う業務継続計画（BCP）の策定が難しい。[知見者]
- 家族が不在時に災害が発生した場合、家に連れて帰ると言われても不安である。家族が戻るまで一人でいれるか心配である。[家族]
- 災害の内容や規模にもよるがむやみに避難するのがはたして有効か？避難中に被災する場合がある。[地域代表者]
- 利用者の住んでいる地域によって避難場所が違うと思うので災害が起きた場合に避難所等の位置やルート確認をハザードマップで確認する必要があるのではないのでしょうか？[地域代表者]
- 利用者の居住地のハザードマップの把握や確認を行い災害時に市や県からの発令される情報をもとに家族様との連絡を密にして避難して頂きたい。日頃より避難時の方法手順等も合わせて利用者及び家族と話し合いされた方が良いと思われる。[包括支援センター]

〈質問〉

- Q：曜日別対抗ゲームとはどのようにされているのか？[地域代表者]  
A：曜日別ゲーム週間は、その曜日利用された方を1チームとしてゲームに参加してもらい、その合計得点をそのチームの得点とし月曜日から金曜日まで争います。一番得点が高い曜日チームが優勝となり、次週利用される曜日の昼食を普段の食事より少し豪華にして祝勝会を行っています。
- Q：利用時の災害発生についての事だが避難所に避難しても物資や付随して必要な物がある（食料・薬・オムツ等）が用意、確保が難しいのでは？むしろ家族と連絡つくまでデイで見てもらっていた方が安全なのでは？[利用者家族]  
A：この場合は今後、家族様と申し合わせ事項として一定の確認を行う必要があると認識しています。その中で重要なのは連絡体制の手段、方法についても確認していきたいと考えています。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○